

Free Stitching Starter Set

フリーステッチング
スターターセット

セット
内容

フリーステッチング
ニードル本体

針先
(3本取)

スレダー※

キャップ

フープ (18cm)
スタンド

※ご使用の際は、イラストのようにセットしてください

※スレダーは、
箱の側面にある台紙のウラ側に
セットされています。

57-410 使い方説明書

用
意
す
る
も
の

●適した糸

・25番刺しゅう糸 (3本取)

25番刺しゅう糸は、一般的に細い糸を6本まとめたものが1かせ (糸の束) として売られています。100cm程度に切り、1本ずつ引き抜いた糸を3本合わせて使います。

・レース糸 40番

●適した布 (25cm角以上) ※中肉～厚手

・シーチング
・オックスフォード

・薄手のデニム

※Tシャツなど伸縮する生地、織目の粗い生地、すべりやすい生地、透ける生地、合成皮革には適しません。

●しるし付け用品

チャコピーを使う場合 … クロバーチャコピー (片面) (別売)、
トレーサー (別売)

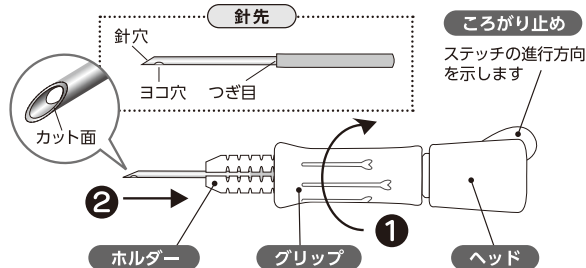
布に直接 描く場合 … 水性チャコペン (別売)

●ボンド … 58-444 クロバー布用強力ボンド「貼り仕事」 (別売)

1. フリーステッチングニードルの本体に針先をセット

針先を目盛3に合わせる場合

各部名称



- 1 ヘッドを固定して持ち、反対の手でグリップを①の矢印方向にゆるめます。
- 2 針先をホルダーに②の矢印方向に差し込みます。ステッチの進行方向を示すため、針先の斜めカット面と、ころがり止めを同じ方向に合わせます。
- 3 針先のつぎ目を目印として 標準位置 — 目盛3の位置に合わせ、グリップを①と逆方向にしっかり締めます。

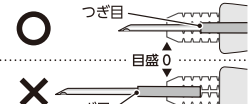
針先の長さ調節



左図の針先のつぎ目をホルダーの目盛 (0～5) に合わせて、ループの長さを調整します。(針先を長くすることで、ループも長くなります)

注意

針先のつぎ目は、目盛0より外側にセットすると、正しく針先が固定できません。

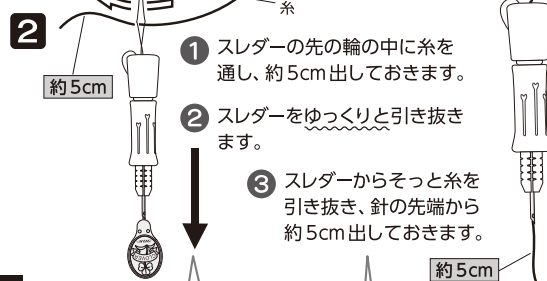
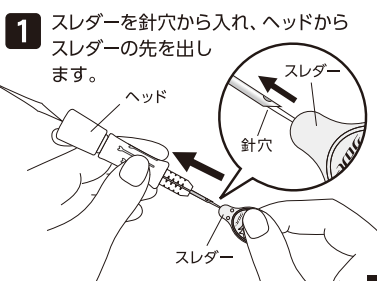


2. フリーステッチングニードルに糸を通す

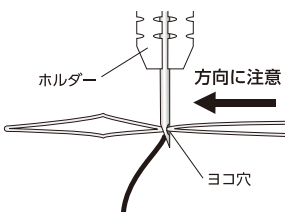
POINT スレダーの持ち方

スレダー (先)

スレダーは先の方を持ち、少しずつ針穴に送ります。

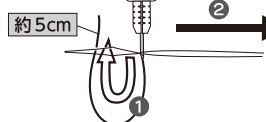


3 ヨコ穴にスレダーを通します。



4

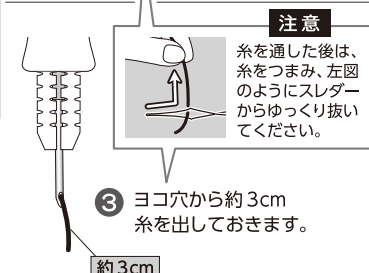
1 スレダーの先の輪の中に糸を通し、約5cm出しておきます。



注意

引っかかりがある場合は、一度スレダーを戻して刺しゅう糸を整えてください。
※無理に引き抜くとスレダーが破損します。

2 スレダーをゆっくりと引き抜きます。



注意

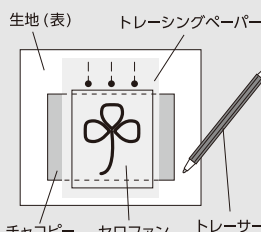
糸を通した後は、糸をつまみ、左図のようにスレダーからゆっくり抜いてください。

3 ヨコ穴から約3cm糸を出しておきます。

3. 図案を写す

チャコピーを使う場合

- 1 実物大の図案をトレーシングペーパーに写します。
- 2 生地の表側にトレーシングペーパーに転写した図案をのせ、待針とめします。
※ループを表にする時は、図案を反転させ、生地の裏側に図案を写します。
- 3 生地と図案の間に「クロバーチャコピー (片面)」を転写面を下にしてはさみます。
- 4 図案の上にセロファンを重ね、トレーサーで図案をなぞります。



布に直接 描く場合



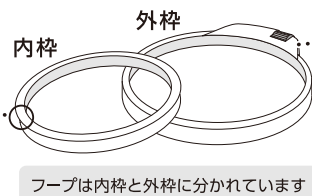
直接布に、図案を描きます。

(「自然に消える」・「水で消える」)
水性チャコペンで描くと便利です。

※ループを表にする時は、図案を反転させ、生地の裏側に図案を写します。

4. 生地を張る

内枠のエッジ
フープの内枠についているエッジが生地をしっかりととらえます。

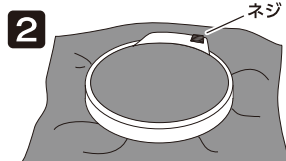


ネジカバー
ネジ部分がカバーされているので、生地端の糸などからみません。

生地についたフープのあとや、刺しゅうが終わってからスプレーで霧吹きをして、アイロンをかけて整えてください。
※生地によっては、フープのあとが残る場合があります。



内枠のエッジ部分を上にして、生地をかぶせます。



外枠のネジをゆるめて枠を大きく広げ、**1**にかぶせます。



POINT
内枠のエッジが外枠に引っかかるようにセットし、軽くネジを締めます。

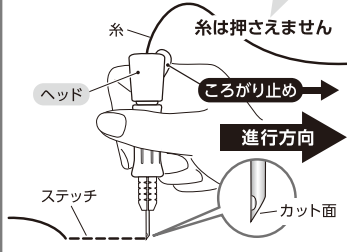


生地を引っ張り、ネジを締める動作を数回くり返し、生地をピンと張って、フープをスタンドにセットします。

5. ステッチを刺す

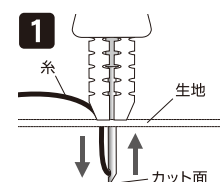
POINT 刺すときの持ち方

本体のヘッドから出ている糸を、手や物で押さえたり、引っ掛けたりしないでください。
※ステッチがきれいに刺せなくなります。

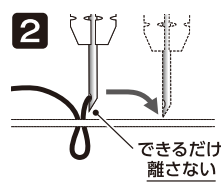


針先のカット面が進行方向を向くように刺し進めます。

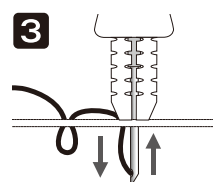
(ころがり止めを進行方向の目安にします。手前に向かって進めると刺しやすくなります)



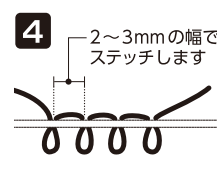
ホルダーの根元まで刺しそのまま真上に引き上げます。



針の先端を生地からできるだけ離さず、すべらすように2針目を刺します。



そのまま真上に引き上げます。



1～**3**をくり返します。

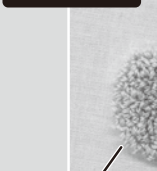
針先の種類ごとのステッチ幅の目安

1本取	3本取	6本取	極太
1～3mm	2～3mm	2～5mm	3～6mm

※本品には(3本取)の針先がセットされています。別売の針先(1本取)(6本取)(極太)もご利用いただけます。

いろいろなステッチの刺し方

① バックステッチ風



③ ループ※

針先の長さ: 4

② サテンステッチ風



③ ループ※: ベルベット調

針先の長さ: 2

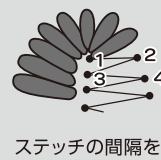
① バックステッチ風

基本のステッチ



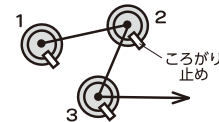
針先のカット面を進行方向に合わせて等間隔で刺します。

② サテンステッチ風



ステッチの間隔を広くします。(5mmぐらいまで)

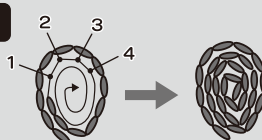
刺し方のコツ



この刺し方の場合、針先のカット面は同じ向きをままで、ジグザグに刺します。
(針先のカット面と、ころがり止めは同じ方向です。)

※ループは生地の裏に図案を写します。

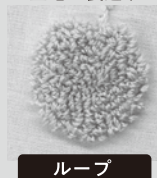
③ ループ



生地の裏面からバックステッチ風をします。
※図案は裏面に、表裏が逆になるようにします。

図案の外側から内側にかけて、針先のカット面の向きを進行方向に合わせて、等間隔に刺していきとループの長さが揃います。

▼ 生地を裏返すと



ループ

ループの先を全てカットしてはさみで形を整えると



ベルベット調

ループの先を長くすると

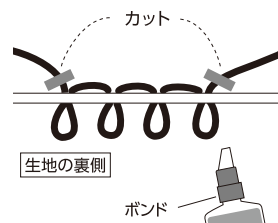


ループを長くする場合は、針先の長さを長くしてください。(1-3参照)

6. 糸始末をする

刺し始めと刺し終わりは、他の糸を切らないよう注意して、ギリギリのところまでカットします。(玉止めの必要なし)

その後、刺した糸が抜けないように裏面をクローバー布用強力ボンド「貼り仕事」(別売)で接着します。



クローバー布用強力ボンド「貼り仕事」(別売)の使用方法

布用強力ボンド「貼り仕事」をステッチ部分(刺しゅうの裏面)に塗り、シリコンペーパーをあて、アイロンをかけて接着します。

クロバー フリーステッチング関連商品 (別売)

- ・ 57-406 フリーステッチングフープ〈12cm〉: 小さな图案を刺すときに。
※スタンドは共通でご使用いただけます
 - ・ 57-417 フリーステッチング針先〈1本取〉
 - ・ 57-418 フリーステッチング針先〈3本取〉
 - ・ 57-419 フリーステッチング針先〈6本取〉
 - ・ 57-420 フリーステッチング針先〈極太〉
- 詳しくは
下記の適した糸と布を
参照ください

57-417 〈1本取〉針先 (別売)

適した糸

- ・ 25番刺しゅう糸 (1本取)
- ・ ミシン糸

適した布 ※薄手〜厚手

- ・ フロード
- ・ シーチング
- ・ 薄手のデニム
- ・ オックスフォード

57-419 〈6本取〉針先 (別売)

適した糸

- ・ 25番刺しゅう糸 (6本取)
- ・ 5番刺しゅう糸
- ・ 極細毛糸

適した布 ※中肉〜厚手

- ・ シーチング
- ・ デニム
- ・ オックスフォード

〈3本取〉針先

適した糸

- ・ 25番刺しゅう糸 (3本取)
- ・ レース糸 40番

適した布 ※中肉〜厚手

- ・ シーチング
- ・ 薄手のデニム
- ・ オックスフォード

※ 3本取は、57-418 〈3本取〉(別売) 単品として
もお買い求めいただけます。

57-420 〈極太〉針先 (別売)

適した糸

- ・ 中細毛糸
- ・ 刺しゅう用リボン (4mm 幅程度まで)

適した布 ※中肉〜厚手

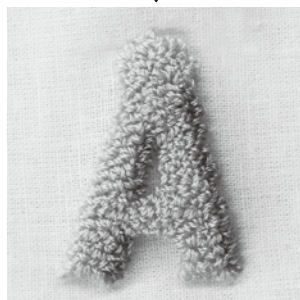
- ・ デニム
- ・ オックスフォード

ステッチ見本

バックステッチ風



ループ 針先の長さ: 4



※ループを表にする時は、图案を反転させ、
生地裏側に图案を写します。

フリーステッチングのチェックポイント

ステッチの糸が抜けるときには

☐ 適した生地を使用していますか？

織目の粗い生地、すべりやすい生地、合成皮革、伸縮する生地は
糸が抜けやすく不向きです。(絹・麻などのすべりやすい生地には、
刺しゅう前に生地の裏に布製の接着芯を貼ると糸は抜けにく
くなります。)

☐ 専用のフープを使用していますか？

生地の張りが弱いと糸が抜けやすくなります。専用のフープを
ご使用ください。

☐ 針先は根元まで刺して、真上に引き上げていますか？

(→ 5-1)

☐ 針先を生地から離さないようにしていますか？ (→ 5-2)

☐ 針先のカット面は進行方向に向いていますか？

(→ 1-2、5-POINT)



フリーステッチングのコツ

ステッチの目が浮いたときは

- ・ 裏側から爪で軽くしごいて目を整えます。

生地を破らないように刺すには

- ・ ステッチの間隔が短くならないように、また、同じ箇所を何度も刺さないように
します。
- ・ 生地が破れる場合は、針先の太さを細くしてください。(別売の針先から選んでくだ
さい) それでも破れる場合は、生地を替えてください。

ステッチをやり直すには

- ・ 糸を引っ張って抜きます。一度ステッチをした部分は生地が弱り、刺しにくくな
っています。違う場所を刺すか、爪でしごいて生地の目を揃えてから刺します。
また、一度使った糸はステッチのくせがついて刺しにくくなっています。できる
だけ新しい糸を使用してください。

洗濯するときは

- ・ やさしく手で押し洗いか、ドライクリーニングしてください。

使用上の注意 ※お使いになる前に必ずお読みください

フリーステッチングニードル

- ・ 生地の種類によっては、無理に刺すと繊維が切れる恐れがありますので、必ず目立たない箇
所でテストをしてからお使いください。
- ・ 生地の種類によっては、ステッチを刺したあとの穴が残ります。あらかじめご了承ください。
- ・ 針先は尖っていますので、取り扱いにご注意の上、お子様の手の届かない所に保管してく
ださい。また、保管の際は必ず、針先を本体からはずしてキャップをし、本体のグリップをゆるめた状態
で保管してください。

フリーステッチングフープ

- ・ フープのネジを必要以上に強く締めたり、ゆるめすぎるとネジが変形・破損する恐れがある
のでご注意ください。
- ・ 保管の際は、ネジをゆるめた状態で保管してください。

フリーステッチングスレダー

- ・ 針先の規格と糸の太さによって、無理な力を加えると破損します。針先にスムーズに
通せない素材の使用はお避けください。
- ・ 保管の際は、線材部分が曲がらないように注意してください。

フリーステッチングスタンド

- ・ フリーステッチングフープをセットした時、生地を張った状態で、フープの近く約1cm
の範囲はフリーステッチングをしないでください。針先がスタンドの壁面に当たり、破損
する恐れがあります。
- ・ 生地がゆるんだ状態でフリーステッチングをしないでください。針先が底に当たっ
て破損したり、机などを傷つける恐れがあります。
- ・ フリーステッチングフープをセットする以外の用途では、ご使用にならないでください。

注意

安全確保のため取り扱いにご注意ください。

本商品に記載の作品は、個人的に楽しむ場合を除き、無断で製作・販売
することは著作権法で禁じられています。

② 本商品や使い方を説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

▼商品に不都合な点がございましたら、
クロバー(株)「お客様係」までお問合せ
ください。

クロバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL.(06)6978-2277